

# 読賣新聞

2005年(平成17年) 1月7日 金曜日



## 世田谷直下地震なら 多摩川沿いは 10-20%「全壊」

神戸市や東京・世田谷区など全国九の市区町で、直下型などの地震が発生した場合、各市区町内の全域で震度6弱以上の強い揺れに見舞われ、地域によっては建物の三割以上が全壊する可能性があることが六日、内閣府が作成した震度分布図で分かった。対象になったのは、ほかに、福島県原町市、神奈川県茅ヶ崎市、静岡県長泉町、愛知県岡崎市、和歌山県海南市、徳島県鳴門市、佐賀県北茂安町。いずれも、大規模地震発生

の可能性が指摘されている地域で、内閣府の募集に対し応募した自治体の中から、地域バランスや都市の規模を考慮して選ばれた。五十鈴四方ごとに地形や地質、建物が木造か非木造かを調べたうえで、直下型のほか、近接する断層や海溝で地震が起きた場合の最大震度や、建物の全壊率を予測した。

世田谷区では、直下型として、立川断層を震源とする地震が起きた場合、区内ほぼ全域で震度6強の強い揺れとなる。全壊率では、多摩川沿いの地盤が軟弱な地域が、10-20%と最も高かった。